



北海道教区報

号外

発行所

天理教北海道教務支庁

札幌市中央区南 8 条西 11 丁目

布留川沿いに満開の桜
おやさどやかた南棟を望む
(3月末)

感染拡大の早期終息 罹患された方々の 身上平癒とともに
さまざまな困難に直面している方々の 一日も早い平穏な
日常への回復と 社会的・経済的な混乱の収まりを祈念しま
しょう

この度の新型コロナウイルスの影響により北海道では緊急事態宣言のなか、教区でも支部長会議を含め各種行事も延期、又は中止となりました。本来ならば教区報を発刊し皆様に教区の動きなどをお伝えしなければならぬところ、編集作業にも支障が生じ休刊と致しました。

皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。政府の緊急事態宣言も全国に拡大され、今後の見通しも不透明ですが、どうぞ感染症予防対策の基本を守り、ご自愛頂きますようお願い申し上げます。 教区報編集部

新型コロナウイルス感染拡大 大時における活動について (教会本部ホームページより)

教会関係の皆様へ

国内における現在の新型コロナウイルスの感染状況は、依然として全国的な拡大が収まらず、予断を許さない状況が続いています。

新型コロナウイルス感染は、自覚症状が無い人でも、気がつかないうちに、感染拡大に関わっていると見られていることから、政府は、密閉、密集、密接の三つの「密」を避ける行動をより強く徹底することを求めています。

天理教の教会は、信者が礼拝や信仰実践のために寄り集う場所である性質上、感染リスクが低くはない場所であることをよく自覚して、常時から十分な防止策を考えて活動してください。

- ・講話や直会をやめるなど、おつとめ以外の時間の短縮
- ・高齢者や感染リスクの高い人、不安を感じる人の参拝をお控えいただく
- ・消毒、手洗いやマスク着用を含む咳エチケットなどの衛生

- 月次祭のおつとめは、おつとめ奉仕者、参拝者、周辺地域の人々の安全・安心によく配慮して勤めてください。

- 月次祭や朝夕のおつとめはもとより、それぞれでおつとめを勤めるごとに、感染拡大の早期終息、罹患された方々の身上平癒とともに、さまざまな困難に直面している方々の一日も早い平穏な日常への回復と、社会的・経済的な混乱の収まりを祈念しましょう。なお、今後の状況により内容を更新します。

また、都市部を中心に感染者が急増するなど、地域によって感染状況が異なることから、今後は政府だけでなく、地方自治体の方針や情報が重要になっていくものと思われます。教会として、それぞれの地方自治体が発する感染防止のための方針や情報に常に注意を払って、教会在任者や参拝者、また周囲の人々の安全・安心によく配慮して活動されるようお願いいたします。

- 換気を十分に行う
- 行事は、各地方自治体のイベント等の開催に関する方針に従って、中止や延期または縮小の是非を判断してください。
- ようばく・信者の方には、それぞれに日々おつとめを勤めて祈念することはもとより、ひのきしんの実践など、それぞれの暮らしの場において個人でできる信仰実践を心がけてください。

御本部の参拝について

●4月7日正午より当分の間、教会本部神殿の礼拝場は南礼拝場のみ開放。

東・西・北礼拝場は閉鎖。参拝される際は南礼拝場でご参拝ください。

東西礼拝場の階下も閉鎖いたします。神殿説教、おたすけは当面ごさいません。

●朝つとめ夕つとめの時間は、全ての礼拝場をおつとめ30分前から神殿のおつとめ後まで開放。各礼拝場の正面基壇より昇殿できます。

※参拝される際は周囲の方と間隔を十分に開けてご参拝ください。(立教183年4月7日)

●大型連休中の神殿、教祖殿、祖霊殿への昇殿自粛について

現在「緊急事態宣言」のもと、全国民に対して新型コロナウイルス感染症拡大の防止に向けた行動の徹底が強く要請されています。この切迫した状況に鑑み、教会本部では、人の移動を最小限にするため、4月29日から5月6日までの大型連休の期間、「朝つとめ」「夕つとめ」を除く

すべての時間帯で、神殿、教祖殿、祖霊殿への昇殿をお控えいただくことにいたします。何卒ご理解いただきますよう、よろしくお願い致します。(立教183年4月26日)

天理教会本部

※5月以降の本部月次祭については未定ですが、ごちもおちばがえりなどの行事が中止となっております。

※教祖誕生祭・4月月次祭は、つとめ人衆の先生方でつとめられました。

教会月次祭の様子

新型コロナウイルス感染対策に、各教会も苦心されていますが、一部紹介させていただきます。

1、遠くの方には参拝を控えて頂き、ごく近くの方々だけつとめました。祭典時間を短縮する上から、開扉献饌を先に済ませ、祭儀式をしました。飛沫防止の為地方の方にはマスクをしてもらいました。

2、全員マスクを付けて参拝しました。玄関には除菌剤をおいて除菌してもらい、みなさんが触れる場所は何度も除菌して拭いてもらいました(鳴物等も)。祭典中に、30分を目安に窓を開

直属教会長・教区長はじめ、教会長、よふほく、信者の方々には、おちばへの帰参をお控え

いただき、各教会・布教所、自宅などから遥拝するよう要請されました。

また、各直属からの詰員先生方にも遠隔地よりの移動を控える上から当分の間出仕も控える旨連絡されています。

●5月期の修養科生、4月27日開講の教人資格講習会、教会長資格検定講習会は受け入れ中止になりました。

けて換気をしました。弁当を作って祭典後お持ち帰りにして、お下がりも配らず接触を減らしました。

3、私の教会は、普段参拝に来て下さる方々には、参拝はご自宅でお願ひして、家族など教会内の少人数でつとめました。

新会長さん紹介

(令和2年3月26日お運び)

網走支部 下佐呂間分教会(津軽) 奉告祭 令和2年6月7日

佐藤元展氏 (31歳)

(同4月18日お運び)

十勝支部 十勝野分教会(小牧) 奉告祭 令和2年7月19日

吉田一美氏 (62歳)

真実のひのきしん 活動に勇む

天理時報4月26日号に、札幌の統北分教会が医療用フェイスシールドを作成して、大阪府内の医療機関に贈られた

記事が掲載されています。またマスクを手作りで配布するなど、各地で真実のひのきしん活動が、個人でまた教会でと展開されています。

そうした中、札幌の長沼分教会(千葉宏司会長)では医療現場用のエプロン防護服を手作りして喜ばれています。

テレビで、某病院の院長さんが防護服が足りないと言っていたことが発端(同4月26日お運び)

網走支部 斜里分教会(撫養) 奉告祭 令和2年6月28日

松木 睦氏 (43歳)

※新会長さん紹介コーナーは、後日改めてご紹介致します。

訃報

瀧内義則様 3月16日出直(67歳)

豊平分教会長 (白豊支部)

金輪ツヤ子様 3月17日出直(96歳)

正輪分教会 前会長(俱知安支部)

となり「今自分にできるひのきしんを」と、現物を採寸して型紙を作り試作品を送ったところ、その出来にお墨付きを頂き、早速40着を贈りました。他にも道内の感染医療機



関から依頼が来ており、現在製作に追われています。生地は数多くの方々からの寄付、縫製お手伝いは、身近な教友の方々や、遠くはSNSを通じて手を上げて下さった愛知県の教友など多くのご協力の

お陰で成り立っているそうです。生地は、雨ガッパのような材質。百円ショップのテールブルクロス(130cm×175cm)が丁度よいそうです。

横山運造様 3月18日出直(81歳) 美理分教会長 (網走支部)

網走支部 網走分教会(撫養) 奉告祭 令和2年6月28日

松木 睦氏 (43歳)

◆天理教の公式ホームページで、新型コロナウイルスに関する、本

部の取り組みについて発表されています。行事の中止や延期など、大事な情報も逐次更新されております。ごつとめお役立て下さい。